

千葉県消費者物価指数の終了について

千葉県小売物価統計調査は、千葉県消費者物価指数を作成することを主たる目的として、高度経済成長期ただ中の昭和 37 年から 40 年余にわたり、県民の消費生活上重要な支出の対象となる商品の小売価格、公共料金、サービス料金及び家賃を調査してきました。

この間、県内の経済は、安定成長期を経てバブル期、そしてバブル崩壊後の景気低迷といった変遷をたどっていますが、消費者物価指数の推移には、このような社会情勢の変化が如実に表れています。物価は私たちの日常生活との関わりが極めて深く、その安定は私たちの生活の安定・向上のための基礎であり、行政における最も重要な課題の一つでもあります。

しかしながら、流通網の発達や店舗の系列化・郊外型大規模店舗の増加などにより、物価構造における地域的な特色は薄れ、近年の千葉県消費者物価指数は、総務省統計局の公表する全国平均値や東京都区部・そして千葉市の消費者物価指数と同傾向の推移を示すようになりました。

このため、千葉県小売物価統計調査は、平成 16 年度をもって終了することとなりました。

以後の県内の消費者物価指数としては、千葉県ホームページ上に、総務省統計局公表の全国消費者物価指数（千葉市）を掲載していきます。

各方面において広く活用していただければ幸いです。

終わりに、この調査の実施にあたり格別のご協力をいただいた調査店舗の方々をはじめ、調査員ならびに関係各位に対し厚くお礼申し上げますとともに、今後とも各種統計調査により一層のご理解とご協力をくださるようお願い申し上げます。

平成 17 年 3 月

千葉県総合企画部長

石 渡 哲 彦